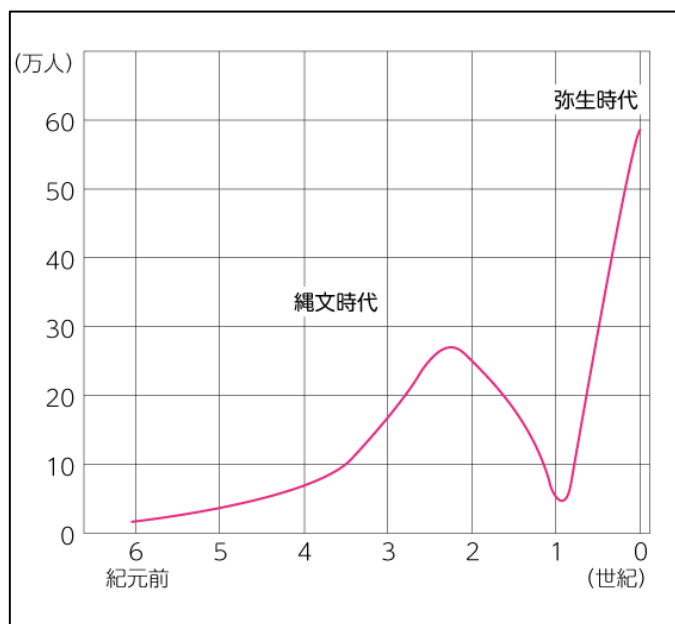


米づくりの広まりと人口

米づくりがさかんになると、それまでより安定して食料が得られるようになり、むらの人口が増えました。日本の人口は、その前の時代と比べてどのように変化したのでしょうか。人口の変化から日本の歴史を見てみましょう。



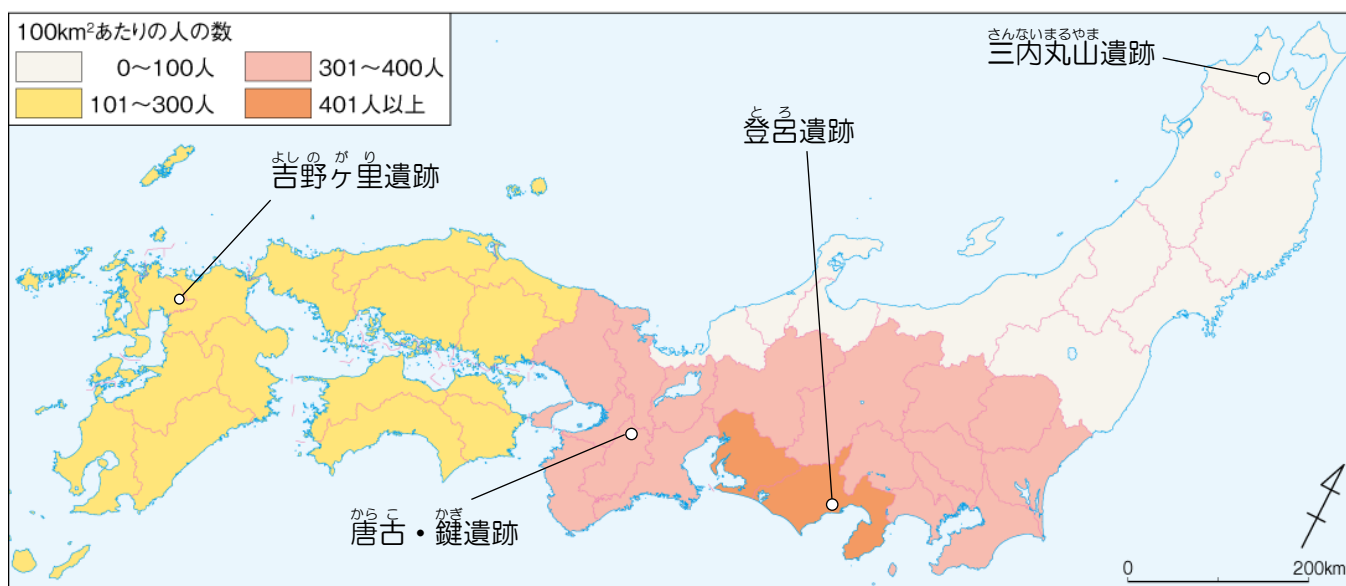
人口が増えた弥生時代

弥生時代の人口は、縄文時代と比べて大きく増えていることがわかります。人口の変化には、気温や食料の状況の変化が大きく関わっています。縄文時代の終わりの人口減少は、気温が下がり、食料が減少した影響であると考えられています。

←ア 縄文時代から弥生時代にかけての日本の人口の変化 遺跡数などをもとに考えて、計算したグラフです。

西に広がる人口増加

縄文時代の中ごろには、どんぐりやくりといった木の实が多くとれる木が豊富にある東日本に人口が集まっていた。一方で、弥生時代には、西日本で人口が増えています。これは、西日本が米づくりに適した温暖な気候であったためであるといわれています。米づくりなどを日本に伝えた、大陸に近かったことも、西日本で人口が増えた原因だと考えられています。



↑イ 弥生時代の地域ごとの人口の集まり